



月一だより

中央区立 月島第一小学校
平成31年1月 NO.444

笑う門には福来たる

校長 荒川 比呂美

新年あけましておめでとうございます。平成最後、31年亥年が明けました。亥は、勇猛な性質であり、豊饒のシンボルとされています。果敢に挑戦し、豊かな成果を得られる年になるよう新しい風をしっかりと受け止めたいと思います。本年も月島第一小学校の児童の健やかな成長のために、教職員一同全力でがんばって参りますので、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、新しい年がよい年となるよう、お正月には「笑門来福」（笑う門には福来たる）という諺がよく使われます。笑顔で周囲の人とコミュニケーションを取っていると、その人のところには、自然と幸せが訪れる、という意味です。政治や経済の先行きの不透明さや様々な争い、自然災害の発生など、社会全体が抱えている多くの不安感の反映かもしれませんが、今年は、例年にも増して世の中が笑いを求めている感じがします。

「笑い」そのものには、様々な効果があると言われています。ある医師の話では、「笑い」には、①体の免疫力を高める ②脳の働きが活性化する ③血行が促進する ④自律神経のバランスが整う ⑤筋力がアップする ⑥幸福感が増し、痛みを軽減する などの効果があるそうです。確かに、お腹の底から笑うと、落ち込んでいた気分も爽快となり、元気が湧いてきたという経験が、私にはあります。これも、「笑い」の効能かもしれません。人間は、気持ちが沈んだり、神経が張り詰めていたりすると、どうしても物事をネガティブに考えてしまいます。そんなときに、「笑い」によって気持ちが落ち着き、緊張が緩んでリラックスできたなら、きっとポジティブな感情をもったりプラス思考になれたりすることだと思います。笑うこと、笑顔を心がけることで健康の増進につながるのであれば、こんなに嬉しいことはありません。

今年一年、楽しく大いに笑い、心身共に健康な日々を送りたいものです。そして、月一小の子供たちが、心の底から喜んで笑顔で毎日を過ごせることを心より願っています。

1月の生活目標 礼儀正しくしましょう。

外国語活動について

英語主任 田中 貴子

本校では、1～4年生は週1回の外国語活動、5、6年生は週2回の外国語科の授業を行っています。

英語というツールを使って、コミュニケーション能力を高めることを目的に、指導をすすめています。絵カードを使って言葉の練習をしたり、友達とインタビューをし合ったり、自分の考えや思いを発表したりしています。コミュニケーションを図るときに特に大切にしているのが、下記の4つのポイントです。

- ☆ 「eye contact」 (目を合わせて)
- ☆ 「smile」 (笑顔で)
- ☆ 「clear voice」 (はっきりとした声で)
- ☆ 「Listen carefully.」 (よく聞いて)

イラスト入りのカードを掲示し、4つのポイントを常に意識させています。子どもたち一人一人が外国語に親しみ、コミュニケーションをより楽しめるよう、今後も努めていきたいと思っています。

セカンドスクールについて

第4学年主任 北田 優典

4年生は11月26日から28日まで柏学園にセカンドスクールに行ってきました。

小学校生活初めての宿泊学習。子供たちは楽しく過ごすことができたようです。オリエンテーリング、ネイチャーゲーム、カレー作り、サイクリングなどの活動では、学校では体験できない自然とのふれあいを存分に楽しみ、学びを深めることができました。宿舎での生活では、しおりを見て行動すること、係の仕事に責任を持って行うことを意識して、一人一人が自分たちの力を発揮することができました。

3日間過ごす中で、友達とのトラブルや思い通りにいかない苦しさも感じたこともありました。それらも、学校の中だけではなかなか学ぶことのできない集団生活のあり方や友達との関わり方、協調性などを学ぶ良い場となったことと思います。

これらの経験を今後の学校生活に生かすとともに、来年度には立派な高学年として月一小の中心となる姿を期待しています。